

## 理科 3年生 学習計画と評価規準について

領域	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命の連続性	4月～5月	生物のふえ方や進化に関する事柄や現象の特徴に着目しながら、様々な生命活動や進化についての基本的な考え方やきまりなどを理解するとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な生命活動や進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、生物の成長とふえ方についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことを繰り返すなど、科学的に考えている。	様々な生命活動や進化に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
化学変化とイオン	6月～7月	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、イオンやイオンが関係する化学変化についての基本的な考え方やきまりなどを理解するとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	イオンが関係する化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解き明かし、化学変化におけるきまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことを繰り返すなど、科学的に考えている。	イオンやイオンが関係する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
運動とエネルギー	9月～11月中旬	力や仕事、エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、これらの基本的な考え方やきまりなどを理解するとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力や仕事、エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解き明かし、きまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことを繰り返すなど、科学的に考えている。	力や仕事、エネルギーに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
宇宙を観る	11月下旬～1月中旬	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、様々な天体現象についての基本的な考え方やきまりなどを理解するとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な天体現象について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、太陽の様子、惑星と恒星についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことを繰り返すなど、科学的に考えている。	様々な天体現象に関する事柄に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
自然と人間	1月下旬～3月	日常生活や社会と関連づけながら、環境保全や科学技術の利用についての基本的な考え方やきまりなどを理解するとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	環境保全や科学技術の利用などを調べる観察、実験、調査などを行い、自然界のつり合いについて科学的に考えている。	環境保全や科学技術の利用に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、ワークシートなど